

丘小だより

雲雀丘小学校 学校だより

第 3 2 9 号

平成 2 2 年 2 月 発行

2月に入ったと思っていたらあつと言う間に早くも後1週間を残すだけとなってしまいました。最初の週の春を思わせる好天から寒の戻りがありました。少しずつ欠席する子もいますが、心配していたインフルエンザの流行もなく子どもたちは元気に活動しています。そんな様子を中心にお伝えします。

恒例 「なわとび大会」開催！

冬場の体力づくりの一環として縄跳びを奨励しています。その励みになればと、2月10日(木)に「なわとび大会」を行いました。個人の部と縦割り班活動による団体の部の2つを行いました。

個人の部は、低・中・高学年別に技の種類や時間を変えて挑戦しました。学年により難易度が違います。一人が2種目にチャレンジしましたが、上の学年の技に挑戦する子どももいました。合格した人、惜しくも失敗した人いろいろですが、それぞれに目標を立てて取り組みました。その努力が素晴らしいと思います。

団体の部は、予選一決勝と行われました。前跳び30回から始まり2重跳び50回まで、種目を変えながらのリレーを行いました。寒さを忘れさせるほどの声援と熱気で、終わる頃にはあたたかく感じるほどでした。

接戦の末、7班が優勝トロフィーを手に入れました。

なわとび大会が終わった後も、「〇〇跳びができるようになりました。見てください。」と毎日のように子どもたちが言ってきます。「わたし、本当に頑張ったんですよ！」と誇らしげに語る自信に満ちた笑顔がとてもさわやかで素敵です。

寒い中応援してくださった保護者のみなさま、ありがとうございました。



2年生 創作ダンス発表会

2月9日(水)第38回浜田市創作ダンス発表会が石中央文化ホールで開催されました。雲雀丘小学校からは2年生が代表で参加しました。去年はインフルエンザのためこの大会は中止になりましたので、2年ぶりの参加になります。

2年生が発表したダンスの題名は『青川探検』です。1学期に行った青川川の探検はとても楽しくて、2年生のよい思い出として残っています。のんびり生活していた魚やエビ、カニ、アメンボなどが、突然やってきた人間に驚いて大騒ぎになるという様子を表現しました。

それぞれチームに分かれて、子どもたち自身がエビやカニなどの振り付けを工夫していました。

指導講評では、「ダンスから仲のよさ、チームワークが伝わってくる」「グループごとに動きを作ったと想像されるが、それらの動きが全体の中でよく生きていた」「手の動きがよかった」とほめていただきました。子どもたちの創作力に驚かされ、演技力に感心させられた素晴らしい発表でした。

2年生本当によくがんばりました。



1年生 昔遊びの会

2月8日(火)、1年生は生活科の一環で地域の高齢者の方をお招きをして、昔遊びの会を行いました。今年、昔遊びで使うお手玉が古くなっているのを「むつみ会」に新しいお手玉づくりをお願いし、早速50個のお手玉を作っていただきました。中に入れる数珠玉は1年生が青川川で採ってきたものを使っていただきましたが、少し足りなかったのを別に違う種類の草の実を集めて作っていただきました。そのお礼の意味も込めてご招待したところ、8人の方が参加してくださいました。



お手玉、すごろく、かるた、竹とんぼ、こままわし、あやとりなど、思い思いに分かれて一緒に遊んでいただきました。その後は、餅を焼いてぜんざいを一緒に食べました。食後はもう一度教室に戻って、お礼の気持ちを込めて歌と踊りを披露しました。時間が短くて慌ただしい中でしたが、楽しい時間を過ごすことができました。いつも協力していただくむつみ会のみなさま、地域のみなさまに心からお礼申し上げます。

新企画 ひばりっ子ステージ

2月15日(火)、なかよしタイムを使って、児童会広報委員会の企画「ひばりっ子ステージ…ぼく、わたし、こんなのできます」を行いました。

自分の得意なことを発表しませんかという広報委員会の呼びかけに、12組の個人やグループが応じて、歌、ダンス、器楽演奏、落語などを披露しました。とても可愛い演技、腹を抱えて大笑いしてしまったもの、おっと感心させられたもの、心がほっとあたたかくなるような場面もあるなど、本当にバラエティーに富んだ、個性豊かな発表になりました。みんな舞台度胸がよいのも、現代っ子だなと妙な感心してしまいました。

ホームページにもっと多くの写真を載せています。よろしければそちらもご覧ください。



<3月の主な行事>

9日(水) 児童会引継式 18日(金) 卒業式 24日(木) 終了式